

令和7年3月15日

令和 6 年度
ちきゅうっこ保育自己評価表

＜目的＞

保育所の役割および社会的責任を遂行するため、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢を踏まえつつ、その専門性の向上に努め、適正な管理運営を図る。今年度の保育・教育全般について総合的に自己評価を行い、その結果を次年度の保育計画の策定に反映させる。

＜保育方針・保育理念・目標について＞

内 容		反省・評価
1	理念や保育方針が職員に周知されている。	
2	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間目標を立てている。	
3	子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている。	
4	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢、個々の発達に留意した指導計画を作成している。	
5	保育者は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている。	保育士は園の保育方針を職員全員で理解・共有しており、子ども一人ひとりの思いや意欲を尊重し、主体的に取り組めるような保育を心がけている。各担当は、年齢ごとの発達段階および個々の特性を踏まえた指導計画を作成し、実施・評価を行っている。また、職員の専門性向上を図るため、年間1回以上のキャリアアップ研修受講を推進し、専門分野の学びを支援している。

＜保育内容について＞

内容		反省・評価
1	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている。	子どもの発達過程や連続性を意識しながら、日々の保育の中で「ねらい」や「内容」を具体的に共有し、職員全体で一貫した保育を行うことができた。保育士一人ひとりが、子どもの気持ちや思いを丁寧に受け止め、主体的に行動しようとする姿を支える保育を意識して取り組んだ点は大きな成果である。
2	一人一人の思いを受け止め、その思いを出来るだけ実現させようと努めている。	
3	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている。	安全で衛生的な環境づくりにおいて、発達・情緒・家庭環境などを総合的に把握しながら子ども一人ひとりに目を向けて関わっている。また、職員の配置についても人員配置以上の職員の配置を行っている。
4	子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	一方で、子どもの主体的な遊びや生活の中での「学びの広がり」を、行事などさらに深めていく必要がある。
5	身体的、精神的、情緒的発育や家庭環境および食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している。	特に、職員間での情報共有や記録の質を高め、個々の子どもの成長過程をより的確に把握し、次の支援につなげる仕組みづくりが課題である。
6	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心掛けている。	また、行事の計画や評価においては、過去の反省を共有するだけでなく、子どもの主体的な関わりや保護者との協働の視点から、より発展的な取組を検討していきたい。
7	行事については、以前実施した際の計画を確認し、過去の反省や評価を反映している。	
8	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている。	今後も、保育の質を継続的に高めるために、職員一人ひとりが自らの専門性を磨き、学び合う姿勢を大切にしながら、子どもが「自分らしく安心して過ごせる園づくり」を目指していく

＜保育所の組織・役割分担について＞

内容		反省・評価
1	豊かな集団の育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている。	職員一人ひとりが自分の役割を理解し、責任感をもって業務に取り組む姿勢が定着してきた。クラス経営においても、子どもたちの育ちを見通しながら、豊かな集団づくりを目指した保育が実践され、クラス間の連携も円滑に行われた。職員同士の報告・連絡・相談の体制も機能し、日々の情報共有がスムーズに行われている点は大きな成果である。
2	研修への参加は積極的に行い、専門職としての知識やスキルの向上に取り組んでいる。	また、キャリアアップ研修への参加にも積極的に取り組み、専門職としての知識や技能の向上を図ることができた。
3	研修で得た内容・成果は研修報告書を基に職員全員に伝達し、共有している。	研修で得た学びを職員全体で共有し、日々の保育改善につなげる姿勢が育ってきていることも評価できる。保育内容の充実や業務の効率化につながる提案も多く見られ、組織としての前向きな風土が形成されつつある。
4	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している。	一方で、今後の課題としては、研修内容の実践的な活用をさらに深め、学びを日常の保育や園全体の運営改善により効果的に反映していくことが挙げられる。
5	保育をよくしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	また、クラスや担当間での情報共有の質を高め、職員間の相互理解をより深めていくことで、組織全体の一体感と保育の一貫性をさらに強化していきたい。
6	各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	避難訓練は月1回行っており、自然災害は不審者対応など隨時練習しており、子どもも流れを理解して落ち着いて避難ができている。
7	各職員が職員会議等で必要と思う質問や意見を発言することが出来ている。	
8	火災・地震・不審者侵入等の危機管理に努めている。	

＜事務処理・運用について＞

内容		反省・評価
1	個人情報など掲載されている書類については厳重に管理し保管されている。	書類の管理は出来ている。財務に関しては、公認会計士の指導を基に運営している。
2	園内で知りえた情報の守秘義務は徹底できている。	
3	財務管理は適切に行えている。	